

患者調査における「平均診療間隔」及び「総患者数」の算出方法等 の見直しに関するワーキンググループの設置について

1 概要

患者調査では、再来患者の「平均診療間隔」やそれを用いた「総患者数」という指標を算出・公表しており、「総患者数」については、平成5年から公表している。その算出方法については、当時の厚生統計協議会第二部会において審議・了承されたものであるが、その後の高齢化による慢性疾患の増加等の疾病構造の変化や、診療報酬改定、医療技術の向上などによる診療内容の変化に対応したものとなっているかについて検討する必要がある。

このため、検討会の下に患者調査における「平均診療間隔」及び「総患者数」の算出方法等の見直しに関するワーキンググループを設置し、当該見直し等について議論する。

2 ワーキンググループでの検討内容

ワーキンググループでは、以下の項目について検討を進める。

- ・ 総患者数の算出方法（平均診療間隔、調整係数）の見直し
- ・ 見直し後の数値の公表方法
- ・ その他患者調査の改善のための必要な事項

3 スケジュール

令和3年3月までに検討を行い、検討結果については、厚生労働統計の整備に関する検討会に報告する。